

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5018	(H.24)No.	5018
-----------	------	-----------	------

事務事業名		リバーナホール管理運営事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		商工経済室		北森 洋司	63-7824
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	1	都市産業
	小施策	1	商業・サービス業の振興
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	361011
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	商工業振興対策費	
項	商工費	(小事業名)	
目	商工業振興費	リバーナホール管理運営事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
<p>・リバーナホールの維持管理及び運営(貸し出し業務)</p>	<p>リバーナホール利用率の向上</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]				
主な事業の実績・計画	・委託料 清掃業務委託 42千円 ・賃借料 ホール賃借料 4,095千円 ・備品購入費 パネル用支柱 29千円 ・還付金 使用料還付金 0千円 ・ホール利用日数 135日		・委託料 清掃業務委託 42千円 ・賃借料 ホール賃借料 4,095千円 ・備品購入費 パネル用支柱 30千円 ・還付金 使用料還付金 10千円		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
					平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
				・委託料 清掃業務 ・賃借料 ホール賃借料 ・備品購入費 パネル用支柱等 ・還付金 使用料還付金	・委託料 清掃業務 ・賃借料 ホール賃借料 ・備品購入費 パネル用支柱等 ・還付金 使用料還付金	・委託料 清掃業務 ・賃借料 ホール賃借料 ・備品購入費 パネル用支柱等 ・還付金 使用料還付金	
直接事業費	4,166千円	4,177千円	4,177千円	4,177千円	4,177千円	4,177千円	
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他()	337	300	300	300	300	300	
一般財源	(0) 3,829	3,877	3,877	3,877	3,877	3,877	
人工数							
職員	0.17人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人	
臨時職員等							
概算人件費	(0千円) 1,241千円	1,314千円	1,314千円	1,314千円	1,314千円	1,314千円	
+ 総事業費	(0千円) 5,407千円	5,491千円	5,491千円	5,491千円	5,491千円	5,491千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	リバーナホールの利用日数	-	-	-	-	-
	実績		163	132	140	135	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成20年度と比較すると、利用日数が減少している。また、利用者も毎年同じ団体等が使用していることが多いので、新規利用者の開拓が必要である。	利用者拡大のため、市広報や市ホームページ等を活用して、市民への周知を図る。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
	< 考査委員会-主な意見 - > ・名張の活性化・集客効果に視点をおくならば、交流よりも商業活性化・集客等に施設の設置目的を見直し、使用範囲を拡大しても良い。 ・市の相談事業(健康・法律・税務等の相談窓口)を商工業者と連携し実施するなど、稼働率向上に向けた工夫が必要。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	利用率の向上

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

費用対効果の観点から、施設の紹介と利用率を高めていく必要がある。

特記事項